

100号記念のごあいさつ

衛生公害研究所長 松井 祐佐公

今回の消費者コーナーニュースは、当研究所が現在地に新築移転した2年後の1973年（昭和48年）7月に1号が発刊されて以来、33年が経過し、ちょうど100号になります。

この間、当研究所は組織改正を繰り返し、現在の1課7部門の京都市衛生公害研究所に改称されたのは、1990年（平成2年）4月であり、消費者コーナーニュースが50号を向かえた年でもありました。それ以来、更に50号を積み重ねることが出来ましたことは、消費者の皆様方のご支援ご協力の賜物と感無量であります。

記事内容は、食生活の安全を守る食品衛生、市民の種々の疾病を予防する保健衛生、大気・水など生活環境を向上させる環境衛生と環境保全、最近では、BSEなどの健康や生命が脅かされる事態となる健康危機管理に係る情報など、時代に即したものを提供してきました。

我が国では、少子高齢化、グローバル化、地球温暖化が進んでいます。再興感染症の再来や新興感染症の出現などにより、特に、免疫力が低い乳幼児や高齢者に対する感染症に対する健康危険度は、気候温暖化や喫煙環境と相俟って、以前に比し増しており、また、グローバル化によって食品やペットなどが、世界各国から輸入され、消費者は国内にいながらにして世界の物産を享受できるようになった反面、我が国で使用されていない農薬や食品添加物、また、我が国には希少な、あるいは、従来なかった、動物由来感染症が持ち込まれることによる健康危険度も、より増えています。このような社会状況の中で、市民が「健康で快適な文化的な生活」を送り、暮らしていくためにも、安全な食品情報を提供し、感染症に対する啓発を繰り返し、更に、良好な空気・水・気温やタバコと無縁（煙）な環境などを作っていくことの情報が強く求められています。

健康危機に対する対策は、集団発生などの大きな危険だけでなく、身の回りの小さい危険にも市民の関心が向けられるようにすることが大切です。

この「消費者コーナーニュース」がこれらの一助となり続けるためにも、「百里を行く者は九十里を半ばとし、百尺竿頭一步を進む」気持ちで、今後も、市民の皆様方の健康に対する安全と安心の情報を、わかりやすくお届けしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

消費者コーナーニュース No.100

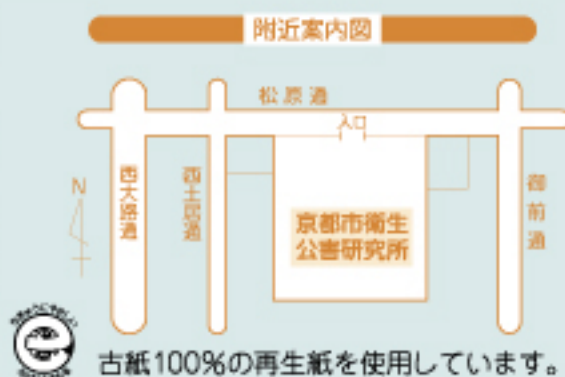
（平成18年12月）

編集・発行 京都市衛生公害研究所

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1番地の2
（西大路松原東へ200m南側） TEL(075)312-4942
FAX(075)311-3232

京都市印刷物 第183125号

京都市衛生公害研究所ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/hokenfukushi/eikouken/>



古紙100%の再生紙を使用しています。

— 同じです あなたとわたしの 大切さ —